

変更理由書

(発注担当課：下水道施設課)

- 1 工 事 名 : 5－1 公共地頭方（補）污水管渠築造工事
- 2 工事場所 : 上尾市大字地頭方地内外
- 3 工 種 : 土木一式工事  
(建設業法上の29分類)

4 変更契約内容

	変 更 前	変 更 後
工 期	令和 5 年 1 1 月 2 1 日から 令和 6 年 3 月 2 2 日まで	令和 一 年 一 月 一 日から 令和 一 年 一 月 一 日まで
契 約 金 額 ( 税 込 )	2 6 , 3 0 1 , 0 0 0 円	2 8 , 1 1 6 , 0 0 0 円
工 事 概 要	取付管工 ( φ 125 ) 13箇所 交通誘導警備員 72人	取付管工 ( φ 125 ) 11箇所 交通誘導警備員 110人 [新規] 鏡切り 1箇所 取付管工 ( φ 150 ) 2箇所 既設暗渠撤去復旧工 1式 既設側溝撤去復旧工 1式 諸経費動向調査費 1式

5 変更理由

<p>契約締結後に判明した下記の事由により、数量及び金額の変更を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・既設 No. 109-1 人孔を削孔する際に鋼製ケーシングが残置されていることが確認され、鏡切りが必要となったため追加する。( [新規] 鏡切り +1 箇所)</li><li>・取付管工において、地権者より土地利用計画が未定のため公共下水道への接続を見合わせたいとの要望があったこと、隣接する私道へ接続予定であった地権者から接続希望があったことから、接続位置を変更する。また、地権者から施設の利用人数が多いこと、既存配管 φ 150 を利用したい要望があり協議した結果、取付管の管径を変更する。 (取付管工 ( φ 125 ) −2 箇所、[新規] 取付管工 ( φ 150 ) +2 箇所)</li><li>・既設 No. 109-1 人孔へ管渠を接続する際、既設人孔と既設暗渠が近接し、その間に水道管が埋設されているため、オーガ掘削にて施工を行う際に埋戻し材が崩れる恐れがあり、適正な埋戻しが困難なことから、既設暗渠を一部、撤去復旧する。 ( [新規] 既設暗渠撤去復旧工 +1 式)</li><li>・既設 No. 107-1 人孔へ管渠を接続する際、既設人孔と既設側溝が近接し、その間に水道管が埋設されているため、オーガ掘削にて施工を行う際に埋戻し材が崩れる恐れがあり、適正な埋戻しが困難なことから、既設側溝を一部、撤去する。また、既設側溝を撤去したところ再利用することが困難な構造であるため同等の構造物で復旧する。 ( [新規] 既設側溝撤去復旧工 +1 式)</li><li>・工事範囲内に病院及び介護施設、店舗等があり、利用者の通行が頻繁であるため、歩行者の安全確保や利用者の車両を臨時駐車場へ誘導する必要があることから、交通誘導警備員の配置を変更する。 (交通誘導警備員 +38 人)</li><li>・当該工事が国土交通省の諸経費動向調査の対象となったため、指定された調査費用を計上する。 ( [新規] 諸経費動向調査費 +1 式)</li></ul> <p>以上の結果、増額変更とする。</p>
--